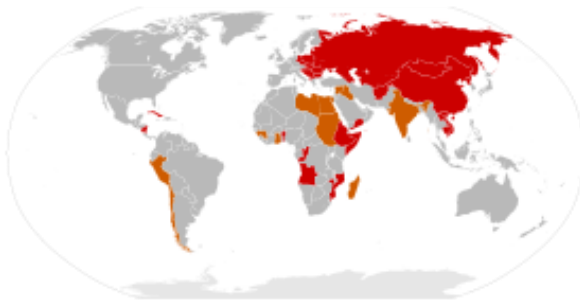


米軍抜き(自衛隊)で沖縄県を守り抜くことは！

現下の日本では、不可能！

一九六〇年代の社会主義国家圏である。



アジアで社会主義国家でなかったのは、日本、南朝鮮、台湾、南ベトナム、フィリピンとわずかである。

北朝鮮の南朝鮮侵略を押し返したのは米軍であった。南ベトナムは北ベトナムに占領された。軍事力の弱い国に侵略して支配するのが社会主義国家の体質である。中国はチベット、ウイグル、内モンゴルに人民解放軍を侵略させて支配下に置いた。

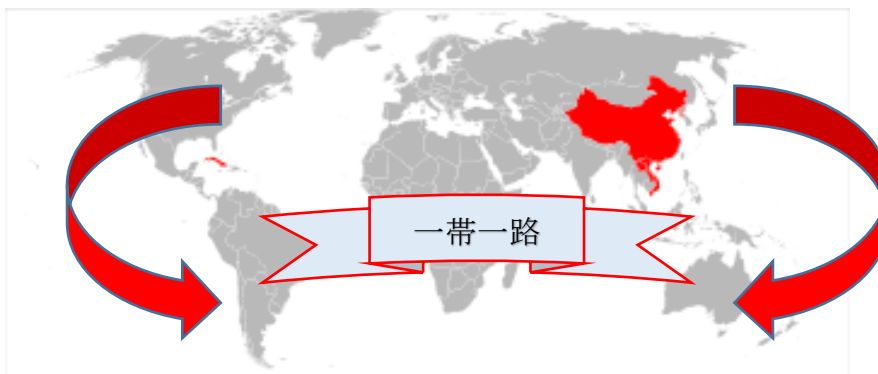
もし、米軍が日本・沖縄に駐留していなかったら中国や旧ソ連に日本は侵略されて社会主義国家になっていたろう。米軍が駐留して日本を守っていたから侵略されなかった。

米軍に抑止力がなかったと思うのは社会主義国家の性格と戦後アジアの歴史を知らないからである。

アジアの場合はソ連が崩壊する一九九一年まで地図と同じ状態であった。

現在の社会主義圏である。ソ連とモンゴルは民主主義国家になったが、超大国中国はまだ社会主義国家である。

社会主義国家は領土拡大主義である。



中国は尖閣諸島は中国の領土だと主張し、尖閣諸島の領海への侵入を繰り返している。空のほうも日本

への侵入を繰り返したり、自衛隊機へ異常接近をしたりしている。それを中国は正当化している。

もし、米軍が日本・沖縄に駐留していなかったら、中国はもっとひどい行為をしていたはずである。そして、自衛隊が弱く、日本に経済力もなかったら中国は尖閣諸島を占領し、与那国、宮古島、八重山侵略を狙っていたはずである。それが妄想ではなく現実的な問題であるのは南沙諸島での中国のフィリピン、ベトナム領への侵略を見れば明らかである。

中国は点線部分を中国の領海だと主張している。赤線、青線はフィリピン、ベトナムが領海だと主張している。



中国の主張する領海はフィリピン、ベトナムに接近しすぎている。どうみてもスカボロー礁や石油掘削している場所はフィリピン、ベトナムの領海である。

しかし、領土拡大主義の中国はフィリピン近海まで中国の領海である主張し、米軍がフィリピンから撤退した数年後にスカボロー礁に侵略し建物をつくり中国の領土にした。

現在はベトナムの領海としか思えない場所で石油掘削をしている。しかも、六隻の軍艦を含めた漁船、海警船の一四〇隻が石油掘削船の周囲を囲ってベトナムの船が近づくことを許さない。

もし、日本の軍事力、経済力がフィリピンやベトナムと同じで米軍が駐留していなかったら、日本・沖縄もフィリピン、ベトナムと同じ運命をたどっていたはずである。ベトナムもフィリピンも米国と軍事同盟を結んでいないし、米軍が駐留していない。だから、中国は強引に侵略したのである。

戦後のアジアの歴史、現在の尖閣諸島、南沙諸島をみれば米軍に抑止力があることは明確である。

呉屋氏の「米軍基地が抑止力というのはどうなんだろう」の発言は、戦後から現在まで米軍の抑止力で日本・沖縄が平和だったことを認識することができないで、米軍が駐留していなくても平和だったと勘違いしているからである。

中国が社会主義国家である間は日本に米軍駐留は必要である。ヘリコプター基地も必要である。普天間飛行場の辺野古移設は宜野湾市の基地被害をなくすためにやらなくてはならない。普天間飛行場の閉鎖・撤去は言外である。

金秀グループの呉屋氏は米軍に対して認識不足である。

海兵隊基地の普天間がある理由はかつて本土で基地反対運動があり当時の沖縄が米施政権の下にあったというだけ。沖縄に米軍基地の七四％が集約している理由は一度も説明を受けたことがない。構造的差別以外の何ものでもない」

沖縄タイムス

なぜ辺野古に反対かという記者の質問に対する呉屋氏の返答である。呉屋氏の考えは反米主義の革新や学者の受け売りである。

日本が警戒する国は北朝鮮と中国である。北朝鮮の隣りの韓国には米軍28,500人、韓国軍69万人居て、北朝鮮への抑止力になっている。

そして、本土には22万人の自衛隊と2万人弱の米軍が駐留している。米軍だけが北朝鮮や中国を抑止しているのではない。韓国の米軍、韓国軍、日本の自衛隊、米軍が抑止しているのである。

革新政治家、左翼学者、沖縄二紙が米軍だけを誇張しているのは彼らが反米主義者であり、日本からの米軍基地撤去を目的にしているからである。米軍よりはるかに多いのが自衛隊である。中国機の領空侵犯にスクランブルをかけているのは自衛隊であり米軍ではない。自衛隊は日々中国の圧力と戦い、中国の侵略を防いでいる。

ところが反米主義者たちは米軍基地が沖縄に集中しているのを誇張して、自衛隊が22万人いること、自衛隊基地の大きさが米軍基地よりずっと大きいことを言わない。まるで米軍基地のほうが巨大であるようにいう。それはまやかしかである。

以上、

[沖縄に内なる民主主義はあるか:翁長氏を信じたためにまやかしの革新 ...](http://hijai.ti-da.net/e6403178.html)

<http://hijai.ti-da.net/e6403178.html>

から引用。(図に一部加工)

◎ 沖縄県が危ない!

1 中国の狙い～列島線の確保～太平洋制覇。

第一列島線のために

沖縄を中国の自治州とする。

そのためにも尖閣諸島は断固として譲らない。

第二列島線のために

日本人民共和国を樹立する～自治州へ

日本を二分する。(北方はロシアでよい)

南半分を中国の自治州とする。

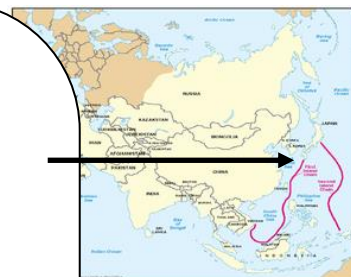
① 「日本解放工作」

～第1期の目標＝**日中国交回復**

② 「日本解放工作」

～第2期の目標＝民主連合政府の
樹立(自民党の分裂)

③ 第3期の目標＝天皇処刑



※ 「列島線」Wiki
左が第1列島線
右が第2列島線
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%AC%AC%E4%B8%80%E5%88%97%E5%B3%B6%E7%B7%9A>

※「最終目標は天皇の処刑」ペマギヤルポ著(ネット)参照

<http://www.asukashinsha.co.jp/book/b98954.html>

2 そのために～**日本と沖縄の分断**～米軍基地を撤去。

① 沖縄へ多数の反日革命家や中国人を定住させる。

② 親中国の風潮を高める。(マスコミ・知識文化人・政治家など)

③ 本土の左翼(共産党を含む)と連携して、

反日・反米(反基地)闘争

を盛り上げる。

「三戦(世論戦、心理戦、法律戦)～戦わずして勝つ。」

- **日本本土の左翼勢力(反日・革命家)**
- **無責任な目立ちたがり屋の輩**

「中国の『世論戦』を警戒するアメリカに見習うべき日本」(ネット参照)
<http://zasshi.news.yahoo.co.jp/article?a=20130111-00000301-wedge-int>

3 世界における現実

- 中国自身の国情・国柄、民族性。
- チベット・ウイグル自治区などにおける悲惨な現状。

(中華民族同化「言語・文化・人種」の強制)～日本ではほとんど報道されない

- 中国の属国化が進むオーストラリア。
(平成 30 年 9 月号『新潮 45』山岡哲秀)

4 中国共産党の自治区になることが本当に沖縄の人々の幸せにつながるのか？

沖縄県は、大切な「日本」の一部！